

# 株式会社セイバン

兵庫県たつの市

生産性向上  
ものづくり

## 小学生6年間の成長に寄り添う 自社ブランドランドセル「天使のはね」

同社は1919年の創業以来、70年以上ランドセルの製造・販売を行なっており、業界最大手企業である。「天使のはね」というネーミングの自社ブランドが広く知られており、小学生の6年間の使用を考慮した品質の高さや機能性に大きな特長がある。近年は直販ビジネスにも注力しており、現在自社ECサイトと全国11か所の直営店を通じて製品の販売を展開している。またランドセルから派生して、保育事業や大人向けバッグの事業、海外販売にも取組を拡大している。

所在地 兵庫県たつの市龍野町片山379-1  
電話/FAX -  
URL <https://www.seiban.co.jp/>  
代表者 代表取締役社長 泉 貴章

設立 1919年  
資本金 4,500万円  
グループ総数 360名



### 小学生の6年間の使用を徹底的に考えたさまざまな機能開発力

小学校6年の間、からだの成長に応じた機能性と、丈夫で安心して使い続けられることに重点を置きランドセル商品開発を行なっている。昨今、子供への重量負荷が問題視されているが、同社では本体重量の軽減のほか「かるく感じる」各種の機能を開発し商品に付加。子供の健康維持や負荷軽減に尽力している。同社製品「天使のはね」は、2003年の発売以来、ランドセル業界の革新技術として広く認知され好評を博してきている。現在では多くの競合他社が追随してきているが、同社は圧倒的な知名度を維持している。



「天使のはね」ランドセル

### 新規ビジネスへの取組本格化による企業ブランドロイヤリティの向上

ランドセルと接点のある新規事業として、子供服メーカーのファミリア社との共同出資により「ファミリアプリスクール」という保育事業を2018年にスタート。また2020年、大人向けの一般バッグブランドの「MONOLITH」を立ち上げ、秋より販売を開始している。これらの事業の新展開により、従来の「セイバン＝ランドセル」という固定化された企業イメージから、同社経営理念にある「世界中の子どもたちとその家族の笑顔にあふれた生活に貢献する」に相応しいものにするべく努力している。



一般バッグブランド「MONOLITH」

### 新工場への生産場所集約とパーツ内製化による業務効率の大幅改善

従来、県内3か所に点在していた工場を、新工場の稼働に合わせ1か所に集約。これにより各工場間の人ならびにパーツ類の移動時間が不要となり、併せて光熱費等の削減を実現。また、社外協力先に委託していたパーツ類の製造を内製化することで、移動時間を中心に生産リードタイムを大幅に縮小することができ、納期改善に大きな効果を発揮した。内製化により、パーツ類の製造品質に対する評価判断が瞬時に行なえることも業務効率の改善に大きく寄与している。



業務効率化を実現した新工場

生産性向上

ものづくり